

# さんぽみち

鶺鴒の木地区地域情報紙

平成19年1月1日号 第48号

発行：わがまち大田鶺鴒の木地区推進委員会

編集：鶺鴒の木地区 地域情報紙編集委員会

事務局：鶺鴒の木特別出張所 電話(3750)4241 FAX(3750)2418

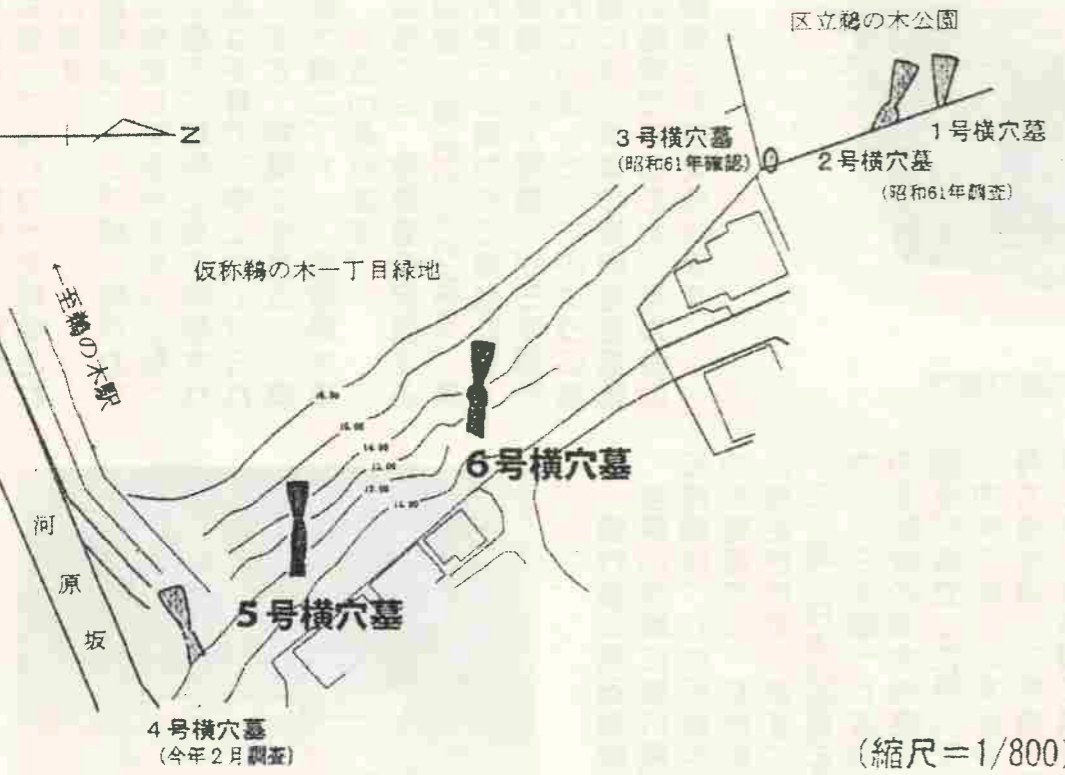


**発掘調査の経緯**

平成十八年八月、鶺鴒の木一丁目6番「(仮称)鶺鴒の木一丁目緑地」で、奈良時代の遺跡が発見されました。鶺鴒の木一帯を治めた、約千三百年前の地域の有力者のお墓と思われる。

お墓は、河原坂の西側台地の東側斜面に横へ穴を掘って造られたもので、横穴墓(よこあなぼ)と呼ばれています。この台地東斜面からは、かつて昭和六十二年にも鶺鴒の木公園の造成工事で、横穴墓が2基発見されました。鶺鴒の木一丁目横穴墓群として、東京都遺跡台帳(大田区遺跡地図No.168)に登録されています。

今回の発掘調査は、鶺鴒の木一丁目緑地の公園造成前に横穴墓を確認する目的で行われました。発掘調査されたのは、5号・6号の二基の横穴墓(掲載図参照)です。八月二十日には、発掘現場の公開・活用を目的として、遺跡見学会を開催し、二七八名の参加者がありました。



(縮尺=1/800)

仮称鶺鴒の木一丁目緑地調査横穴墓位置図

## 鶺鴒の木松山に 奈良時代の遺跡発見

問合せ先  
郷土博物館  
電話(三七七七)一〇七〇

今回は、保存状態が良好な6号墓の調査概要をご紹介します。

## 鶺鴒の木特別出張所だより

### 鶺鴒の木地区高齢者 ふれあいフェスタ

年一回、身近な地域の中で高齢者が一同に会して、ふれあえる場です。みなさまのご来場を心からお待ちしております。

### 秋の叙勲

おめでとうございます。(敬称略)

【瑞宝双光章】  
鶺鴒の木二丁目町会 山田 信之

### 地域の行事

- 日時・二月二十八日(水)午後一時十五分〜四時三十分  
場所・大田区民プラザ小ホール及び展示室  
対象・主に鶺鴒の木特別出張所管内の高齢者
  - ◆小ホール  
☆講演会・講師 和田 行男氏(東京都グループホーム連絡会事務局長、全国認知症高齢者グループホーム協会理事)
  - ☆ヴァイオリンコンサート・志村 洋子氏ほか
  - ☆マジック・今福 進氏
  - ☆保育園児のお遊戯・多摩堤保育園
  - ☆声楽コンサート・山岸 典子氏
  - ◆展示室・協力企業、行政機関、学校、個人等による展示及び実演
- 入場無料です。

**お詫びと訂正**

第四十七号(平成十八年十月一日号)の紙面、リレーエッセーの中で久が原駅の旧名を「調布大塚駅」とお伝えいたしました。正しくは「末広駅」の誤りでした。(なお、調布大塚駅は駅自体が廃止となっております。)

お詫びして訂正いたします。

### 鶺鴒の木特別出張所管内の人口

男	10,656人
女	11,367人
計	22,023人
世帯数	11,311世帯

◇平成18年11月1日現在◇

### 編集後記

皆様、お元気で新春をお迎えのことと、心よりおよろこび申し上げます。

編集委員一同、これからも「さんぽみち」が皆様にご愛読いただけますように、よりよい編集に勤めてまいりますので、本年もよろしくお願い申し上げます。

編集長 永田 清

☆情報紙に対するご意見・ご感想などを事務局までお寄せください。

【事務局】鶺鴒の木特別出張所

電話 3750-4241

FAX 3750-2418



# 散歩してみませんか 都立雪谷高校周辺

大田区内の都立高校周辺巡り その二



都立雪谷高校  
大正二年、東京府荏原郡調布  
村立調布女子実業補習学校とし  
て創立。平成十五年度、硬式野  
球部が甲子園へ出場。また、チ  
アリーディング部は、全国大会  
の常連校で活躍している。

①御嶽神社  
天文四年、峰村が出来た時に  
信州木曾御嶽山の神を分霊して  
祀られたのが始まり。社殿は、  
天保二年に作られたもの。大田  
区の文化財として指定されてい  
る。

②八幡神社  
江戸時代に久が原村が二村に  
分かれた時、東部、西部と分祀  
されたものと考えられる。

③安詳寺  
日蓮宗。はじめは本門寺の末  
寺。寛永六年、安詳院日憶が開  
いたと言つ。

④白山神社  
寛文年間創建されたと伝わ  
る。古来、女体権現神社と呼ば  
れた。正徳四年や享和三年の古  
い手水石が残っている。

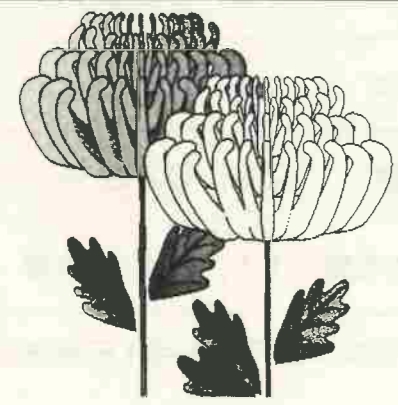
雪谷高校所在地  
大田区久が原一〜十四〜一  
最寄駅 池上線 御嶽山駅

(鶴の木東町会 木村 希代子)  
(鶴の木西町会 石田 フミ子)

## リレーエッセー

「秋」  
秋はスポーツと行楽のシー  
ズンです。  
先日は十月九日の体育の日  
には、大田体育館をはじめ多  
くの会場でもスポーツとレク  
リエーションが行われました。  
鶴の木地区でも大森七中の  
グラウンドで第十四回目の大  
運動会が行われました。(十  
月二十二日)大勢の人の参加  
がありとうございました。委員  
行委員長(保村さん)、委員  
のみなさん、ご苦労様でした。  
また、各地では紅葉の季節  
がやって来ましたが、いろいろ  
の所へ行かれたことでしょう。  
さらに、花では菊の花が代  
表で、各地では花の作品展が  
開催されています。

(南久が原一丁目町会 高橋 信作)



## 6号横穴墓の概要

6号墓は、台地東斜面(掲載  
図中央)の標高十一m付近に構  
築されています。横穴墓は、墓  
道(ほごう)と羨門(せんもん)  
および墓室(ぼしつ)からなり、  
墓道(六m)から墓室(五m)  
まで十一メートルもあり、長大  
です。墓道は被葬者を墓室へ運  
び入れる道です。また墓前祭の  
場でもあります。

墓道の形態は、上端幅一・七  
m、下端幅一・三mの逆台形の  
切り通し状(左の写真)です。



6号横穴墓全景



6号横穴墓羨門の三段積切石

羨門は被葬者を墓室へ葬る入  
口で、泥岩製の切石を組み合わ  
せて作られています。

規模は、高さ一m、幅〇・七  
mあり、門柱を両側に据えその  
上に梁を乗せた形態(下の写真)  
です。羨門は被葬者を墓室へ葬つ  
た後、切石を横三段積み(右の  
写真)で閉じられていました。

切石の羨門構造は、多摩川流  
域でも大田区周辺に多く見られ  
るものです。6号墓の切石羨門  
は豪壮堅固で、切石表面には手  
斧(ちような)の工具痕(切石  
を加工した痕跡)が良く残り、  
当時の鉄製工具による加工技術  
の高さを知る上で貴重なもので  
す。

墓室は、被葬者が通る羨道

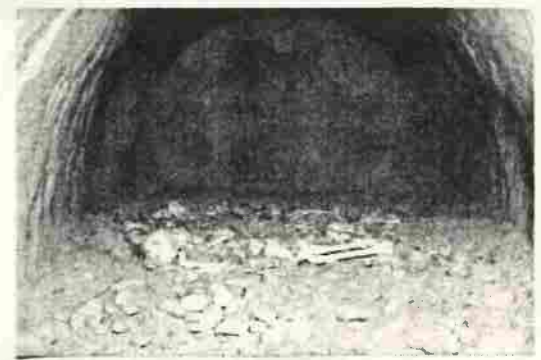


6号横穴墓の羨門

(せんどう)と被葬者を安置す  
る玄室(げんしつ)で構成され  
ています。

墓室は、入口が細く奥がカマ  
ボコ形をした徳利を半分に割つ  
た形態で、鉄製工具で掘削され、  
壁面は手斧で丁寧に仕上げられ  
ています。規模は全長五m、奥  
壁最大幅二・六m、奥壁最大高  
一・八五mあります。

玄室には、被葬者を安置する  
一段高い棺台があります。礫  
(れき)が敷かれた棺台には、  
被葬者(右下写真)が三体埋葬  
されていました。このように横  
穴墓には、数体の被葬者を追葬  
する施設であるため、有力者の  
家族墓とも考えられます。



6号横穴墓の墓室

横穴墓に見る当時の技術  
多摩川流域に横穴墓が造られ  
る時期は、六世紀後半です。鶴  
の木周辺では、七世紀後半から  
と推定されています。

この頃、日本は国号を「倭国」  
から「日本国」と改称し、大化  
の改新後の律令制度による古代  
国家が成立した時代です。

中央の新しい文化や技術は、  
有力者を通して地域へ伝えられ  
ました。鉄製農具が新たな生  
産用具として加わり、社会生活  
を変えたのです。横穴墓の構築  
にも鉄製農具が使われました。  
6号横穴墓の加工を通して、新  
技術の一端をうかがい知ること  
ができます。